

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号を受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定 ・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	684(天武12年)		・この頃、豊前と豊後に区分	
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)		・この年、豊前国戸籍を上進	
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	737(天平9年)		・この年、豊後国正税帳を上進	
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		
794(延暦13年)	・平安京に遷都			
821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
平安時代	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・豊後国:耕地7,500町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1055(天喜3年)			
	1057(天喜5年)			・田原別府(国東郡)
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1135(保延元年)			・大井手(下毛郡、灌漑面積1500余町)*5
	1156(保元元年)	・保元の乱		・平田井手(宇佐郡、灌漑面積654町)*5
	1159(平治元年)	・平治の乱		
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置	・平氏、壇ノ浦で滅ぶ ・豊後国など9カ国、関東御分国となる	
	1190(建久元年)			・建久年間:古井路(大分郡)*5
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1197(建久8年)		・豊前国関田帳を上申	
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1241(仁治2年)		・この年、散田帳により宇佐宮領1万6000町郷荘を注進する	
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]	・蒙古襲来、大友頼泰、豊後国御家人を率い筑前博多で戦う	
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]	・蒙古再来、都甲惟親、肥前鷹島で戦う	
1288(正応元年)			・中野井路(大野郡、65町)*5	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
室町時代	1334(建武元年)	・建武の中興		
	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・豊後国:耕地11,228町
	1506(永正3年)			
	1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
	1551(天文20年)		・ザビエル、豊後訪問	
	1559(永禄2年)		・大友宗麟、将軍義輝より筑前国・豊前国守護職に補任され、6カ国の守護をかねる	
	1571(元亀2年)		・大友宗麟、6カ国の大名となる	
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる		・天正年間:享保井路(大分郡)*5	
安土・桃山	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(~'98)		
	1583(天正11年)			・初瀬井路(大分郡)*5
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1587(天正15年)		・豊臣秀吉、大友義統に豊後国をあたえる ・黒田孝高、豊前国6郡を領す	
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			
	1593(天正20年)			・宮ヶ瀬井路(直入郡、65町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
山時代	1596(慶長1年)		・閏7.12 豊後国に大地震あり、沖ノ浜が海中に没する	・慶長年間:尾伏溜池(東国東郡、灌漑面積25町)*5
	1597(慶長2年)			
	1598(慶長3年)			
	1599(慶長4年)			
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い	・関ヶ原の戦い、徳川家康、中津城主黒田長政を筑前52万石に、細川忠興を豊前35万9000石に、稲葉貞通を臼杵5万石に封ず	
	1601(慶長6年)			
	1602(慶長7年)			・久中井路(三重町)
	1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く		
	1604(慶長9年)			・尾伏溜池(安岐町、25町)
	1605(慶長10年)			
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)			
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)			
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616(元和2年)			
	1617(元和3年)			
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			
	1620(元和6年)			
	1621(元和7年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1622(元和8年)			
	1623(元和9年)			
	1624(寛永元年)			
	1625(寛永2年)			・緒方上井路(大野郡、135町)*5
	1626(寛永3年)			・新百姓池(速見郡)*5
	1627(寛永4年)			
	1628(寛永5年)			・富永池(速見郡)*5
	1629(寛永6年)			
	1630(寛永7年)			
	1631(寛永8年)			・緒方下井路(大野郡、144町)*5
	1632(寛永9年)		・細川忠利、肥後国54万石に封じられ、豊後国内にも領地をもつ	
	1633(寛永10年)			
	1634(寛永11年)			
	1635(寛永12年)			
	1636(寛永13年)			
	1637(寛永14年)			
	1638(寛永15年)			
	1639(寛永16年)	・鎖国令	・この年、日田は幕府領に	
	1640(寛永17年)			
	1641(寛永18年)			
	1642(寛永19年)			
	1643(寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644(正保元年)			
	1645(正保2年)		・この年、岡藩、緒方上井路を開く	
	1646(正保3年)			・宗左衛門新田(杵築市)
	1647(正保4年)			
	1648(慶安元年)			・長宝井手(大分郡)*5
	1649(慶安2年)	・地方五役5人組制度		・永宝井手(大分郡)*5
	1650(慶安3年)		・日根野吉明、初瀬井路を開く	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	江戸時代前期			・中津藩8万石、岡藩7万石、臼杵藩5万石、杵築藩3万石、日出藩3万石、府内藩2万石、佐伯藩2万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)			
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		・中野井路(緒方町)
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)			・原尻井路(緒方町)
	1656(明暦2年)			
	1657(明暦3年)			
	1658(万治元年)			・尾仏池(東国東郡、灌漑面積120町)*5 ・万治年間:万治池(東国東郡)*5
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			
	1662(寛文2年)			・城原井路(直入郡、275町)*5
	1663(寛文3年)			
	1664(寛文4年)			・本河内池(東国東郡、灌漑面積89町)*5
	1665(寛文5年)			
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		・小原井路(緒方町)
	1667(寛文7年)			・三河新田・須崎新田(東国東郡)*5
	1668(寛文8年)			
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			
	1671(寛文11年)			・辻堂の池(速見郡)、江無田開墾(北海部郡)*5 ・富永池
	1672(寛文12年)			・楠原池(速見郡)*5
	1673(延宝元年)			
	1674(延宝2年)	・分地制限法		
	1675(延宝3年)			
	1676(延宝4年)			・白水池

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1677(延宝5年)			
	1678(延宝6年)			
	1679(延宝7年)			・市浜新地(北海部郡)*5
	1680(延宝8年)			
	1681(天和元年)			
	1682(天和2年)			
	1683(天和3年)			
	1684(貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		・朴木村井手(大分郡)*5
	1685(貞享2年)			
	1686(貞享3年)			
	1687(貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		・阿久保井手(速見郡)、来鉢井手(大分郡)*5
	1688(元禄元年)			
	1689(元禄2年)		・この年、中津藩、荒瀬井路を完成	・小河内池(東国東郡)*5 ・田嶋井堰(千歳村)
	1690(元禄3年)			・御玉井堰
	1691(元禄4年)			・小田井路(南海部郡、灌漑面積157町)*5 ・山田池(国東町)
	1692(元禄5年)			
	1693(元禄6年)			・宮花井手(大分郡)、荒瀬井手(樋田大井手)(下毛郡、灌漑面積1800町)*5 ・音無井路(竹田市)
	1694(元禄7年)			・藤原溜池(香々地町)
	1695(元禄8年)			
	1696(元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697(元禄10年)			
	1698(元禄11元年)			
	1699(元禄12年)			・大瀧井路(大分郡)*5
	1700(元禄13年)			
	1701(元禄14年)			
	1702(元禄15年)			・岩下井路(大野町)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1703(元禄16年)			
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			・鬼ヶ瀬井路(南海部郡、72町)*5
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		・鑰小野井路(大分郡)*5
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			
	1712(正徳2年)			・徳川水谷池(速見郡)*5
	1713(正徳3年)			・芝尾池(速見郡)*5
	1714(正徳4年)			・東岡池(速見郡)*5
	1715(正徳5年)			・備後井堰(弥生町)
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		
	1717(享保2年)			・小挾間井手(大分郡)*5 ・伊藤田溜池(中津市)
	1718(享保3年)			・薇尾井手(下毛郡)*5
	1719(享保4年)			
	1720(享保5年)			
	1721(享保6年)	・目安箱の設置		・桂掛井堰(宇佐市)
	1722(享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723(享保8年)			
	1724(享保9年)			・川平井路(大分郡、150町)*5 ・高田井堰(高田市)
	1725(享保10年)			
	1726(享保11年)	・新田検地条目の制定		
	1727(享保12年)			
	1728(享保13年)			
	1729(享保14年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
江戸時代	1730(享保15年)			・享保井路、浜後井路
	1731(享保16年)			
	1732(享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉	・この年、二豊地方大飢饉、翌年にかけて餓死者多数	
	1733(享保18年)			
	1734(享保19年)			
	1735(享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736(元文元年)			
	1737(元文2年)			
	1738(元文3年)			
	1739(元文4年)			
	1740(元文5年)			
	1741(寛保元年)			
	1742(寛保2年)			
	1743(寛保3年)			
	1744(延享元年)			
	1745(延享2年)			
	1746(延享3年)			
	1747(延享4年)			
	1748(寛延元年)			
	1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750(寛延3年)			・岐部新田(国見町)
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・豊後国:田22,707町、畑30,542町、計53,249町
	1751(宝暦元年)			・広瀬井路(宇佐市)
1752(宝暦2年)				
1753(宝暦3年)				
1754(宝暦4年)				
1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成			
1756(宝暦6年)			・平野堤(三重町)	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1757(宝暦7年)			・伊予屋新田(杵築市)
	1758(宝暦8年)			
	1759(宝暦9年)			
	1760(宝暦10年)			
	1761(宝暦11年)			
	1762(宝暦12年)			
	1763(宝暦13年)			
	1764(明和元年)			
	1765(明和2年)			
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)			
	1768(明和5年)			
	1769(明和6年)			
	1770(明和7年)			
	1771(明和8年)			
	1772(安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773(安永2年)			
	1774(安永3年)			
	1775(安永4年)			・提子井路(大分郡、300余町)*5
	1776(安永5年)			
	1777(安永6年)			
	1778(安永7年)			
	1779(安永8年)			
	1780(安永9年)			
	1781(天明元年)			
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		・楠溜池
	1786(天明6年)	・下総手賀沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		・宮ヶ瀬井路(竹田市、～'03)
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			・鞆池(西国東郡)*5
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)			
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			・三宅山溜池(直入郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1809(文化6年)			
	1810(文化7年)		・伊能忠敬、沿岸地域を測量	
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			・常磐井手(南海部郡、64町)*5
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			・大谷池(東国東郡)*5
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			・龍王新開(三百間)(下毛郡、47町)*5
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		・口細堤(大分郡、灌漑面積50町)*5
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)		・日田郡豆田町の豪商広瀬久兵衛、西国筋郡代塩谷正義の命をうけ、日田郡小ヶ瀬井路を完成	・小ヶ瀬井手(日田郡)*5
	1824(文政7年)		・塩谷正義、宇佐郡北鶴田新田の工事に着手(以後、宇佐・国東郡沿岸部の新田造成多数)	・巖崎渠(北海部郡)*5 ・北鶴田新田(宇佐郡、19町)*5
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			・郡中新田(宇佐郡、13町)*5 ・久兵衛新田(宇佐郡、11町)*5 ・上野新池(高田市)
	1827(文政10年)			・巖保新田(宇佐郡、55町)*5 ・岩尾新田(宇佐郡、82町)*5 ・高田新田(宇佐郡、38町)*5 ・乙女新田(宇佐郡、16町)*5 ・南鶴田新田(宇佐郡、14町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1828(文政11年)			・神子山新田(宇佐郡、31町)*5
	1829(文政12年)			・呉崎新田(西国東郡)*5
	1830(天保元年)			・後野池(東国東郡、灌漑面積30町)*5 ・上河原井路(竹田市)*5
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			・浜高家新田(宇佐郡、23町)*5 ・順風新田(宇佐郡、11町)*5
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉		
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		
	1835(天保6年)			
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		・照川池(速見郡)*5 ・天保井路(竹田市)
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)			・中松新開(下毛郡)*5
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		・笹原池(速見郡)*5 ・飯田井路(玖珠郡、50町)*5
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)			・馬渡池増築(東国東郡)*5 ・後谷池(速見郡)*5
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		・仏ヶ迫池・龍ヶ尾池・山田池・大造司池・丁畑池(速見郡)*5
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		・弘化年間:骨峰ノ木池(速見郡)*5
	1845(弘化2年)			・中ノ迫池・長流寺池・西畑池(速見郡)*5
	1846(弘化3年)			・大江新開(下毛郡、33町)*5
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		
	1848(嘉永元年)			・嘉永井路(大分郡、202町)*5 ・嘉永年間:除溝池(速見郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1849(嘉永2年)			・内ヶ畑長沢池
	1850(嘉永3年)		・豊後国東北部に大風雨、杵築藩では2万人が飢人となる	
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			・大無田池(速見郡)*5
	1853(嘉永6年)	・ペリー浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		・安政年間:庄野原・吉兆原開拓(大分郡、50町)*5
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		・船坂池(速見郡)*5
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			・美濃辺池(東国東郡、灌漑面積21町)*5
	1863(文久3年)			・小松新開(下毛郡、12町)*5
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		・床並池(速見郡)*5 ・元治水路(大分郡、数十町)*5
	1865(慶応元年)			・慶応年間:瀧原井路(玖珠郡)*5
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新		
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		・広瀬井路(宇佐郡、灌漑面積577町)*5
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県	・豊後国に大分県成立	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
明治時代		・田畑勝手作許可		
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除		
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)		・小倉県を福岡県に編入	
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争	・薩軍、大分県に侵入	
	1878(明治11年)			・白岩溜池(宇佐市、～'89)
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(～'82)		
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行		
	1881(明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立		
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		・田村溜池(朝地町、～'84)
	1883(明治16年)			
	1884(明治17年)			
	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886(明治19年)			
	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布		
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震		
	1892(明治25年)			・高田池(西国東郡)*2
			・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha	・田48,455ha、畑47,944ha、計96,399ha
	1893(明治26年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1894(明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895(明治28年)			・明治大分用水用水路*2
	1896(明治29年)	・河川法制定		・浦田溜池(高田市、～'07)
	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布	・豊州鉄道、行橋・長洲(現柳ヶ浦)間開通	・穴野溜池(大田村、～'00)
	1898(明治31年)			
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布		
	1900(明治33年)			
	1901(明治34年)			
	1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		
	1903(明治36年)			・大谷池(国東町、～'06)
	1904(明治37年)	・日露戦争(～'05)		
	1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)		
	1906(明治39年)			
	1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		
	1908(明治41年)			・成申溜池(～'11)
	1909(明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)		
	1910(明治43年)	・韓国併合		
	1911(明治44年)			・明治岡本組合の用水幹線(直入郡)*2
	1912(大正元年)			
	1913(大正2年)	・北海道大冷害		
	1914(大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		
	1915(大正4年)			
	1916(大正5年)			・三つ池(追ノ谷池・追頭池・上公池、国東町、～'18)
	1917(大正6年)	・米価高騰		
	1918(大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及	・臼杵そのほかで米騒動発生	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
正時代	1919 (大正8年)	・都市計画法公布		
	1920 (大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921 (大正10年)	・米穀法公布		・上坪井路(朝地町、～'22)、 ・後野溜池(香々地)
	1922 (大正11年)			
	1923 (大正12年)	・関東大震災	・日豊本線全通	
	1924 (大正13年)			
	1925 (大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		
	1926 (大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		
	1926 (昭和元年)			
	1927 (昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		
	1928 (昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙	・豊肥本線全通	
	1929 (昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		
	1930 (昭和5年)	・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する		
	1931 (昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作		
	1932 (昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		・庭瀬井堰(改修)*2
	1933 (昭和8年)	・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波		
	1934 (昭和9年)	・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風		・初瀬井路、田平堰*2
	1935 (昭和10年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1936(昭和11年)	・2.26事件		・明治岡本用水路*2 ・浦田井堰(改良)*2
	1937(昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)		
	1938(昭和13年)	・国家総動員法公布 ・農地調整法公布		
	1939(昭和14年)	・第2次世界大戦はじまる		
	1940(昭和15年)	・米穀管理規則により統制		
	1941(昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		
	1942(昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)		
	1943(昭和18年)			
	1944(昭和19年)			
	1945(昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定	・大分市大空襲	・明治岡本用水改良事業着工(~'49) ・芹川用水改良事業着工(~'53)
	1946(昭和21年)	・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正 ・地方農地事務局設置	・大分県、農地部を設置し、農地改革本格化	
	1947(昭和22年)	・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布		
	1948(昭和23年)	・建設省設置		・平田用水改良事業着工(~'50) ・大野中部用水改良事業着工(~'50) ・万年用水改良事業着工(~'50) ・三隅用水改良事業着工(~'50)
	1949(昭和24年)	・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施		・緒方用水改良事業着工(~'52) ・明正用水改良事業着工(~'52)
	1950(昭和25年)	・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布		・明治大分用水改良事業着工(~'51) ・提子用水改良事業着工(~'52)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
昭和時代				<ul style="list-style-type: none"> ・城原用水改良事業着工(～'52) ・今津干拓事業着工(～'65)
	1951(昭和26年)	・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布		<ul style="list-style-type: none"> ・富士諸用水改良事業着工(～'53) ・初瀬用水改良事業着工(～'54) ・大井手用水改良事業着工(～'55)
	1952(昭和27年)	・農地法公布		<ul style="list-style-type: none"> ・国営西国東(1工区)干拓事業着工(～'56)※ ・荒瀬用水改良事業着工(～'57) ・萩柏原用水改良事業着工(～'59)
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害	・梅雨前線豪雨で被害甚大	<ul style="list-style-type: none"> ・国営西国東(2工区)干拓事業着工(～'69)※ ・封戸用水改良事業着工(～'59)
	1954(昭和29年)			
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		<ul style="list-style-type: none"> ・世利川用水改良事業着工(～'64)
	1956(昭和31年)			<ul style="list-style-type: none"> ・明正用水改良事業着工(～'69)
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		<ul style="list-style-type: none"> ・国営西国東(3工区)干拓事業着工(～'69)※
	1958(昭和33年)			<ul style="list-style-type: none"> ・元治用水改良事業着工(～'65) ・竹田津干拓事業着工(～'68) ・水立防災ダム事業着工(～'66)
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		<ul style="list-style-type: none"> ・志生木防災ダム事業着工(～'65)
	1960(昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> ・所得倍増計画 ・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え 		<ul style="list-style-type: none"> ・大野中部用水改良事業着工(～'69) ・姫島干拓事業着工(～'64)
	1961(昭和36年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62) 		<ul style="list-style-type: none"> ・乙見防災ダム事業着工(～'70)
			<ul style="list-style-type: none"> ・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・田61,100ha、畑34,300ha、計95,400ha
	1962(昭和37年)			
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設		<ul style="list-style-type: none"> ・吉野用水改良事業着工(～'70)
	1964(昭和39年)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布 	・九州横断道路全線開通	<ul style="list-style-type: none"> ・国営駅館川農業水利事業着工(～'79)※

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1965(昭和40年)			<ul style="list-style-type: none"> ・国営駅館川農地開発事業着工(～'80)※ ・荒瀬用水改良事業着工(～'70) ・木佐上防災ダム事業着工(～'71)
	1966(昭和41年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良長期計画(1次) 		<ul style="list-style-type: none"> ・昭和井路用水改良事業着工(～'74) ・直川防災ダム事業着工(～'71) ・圃場整備湯布院地区・横山地区着工(県下第1号、～'72)
	1967(昭和42年)	<ul style="list-style-type: none"> ・公害対策基本法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道10号線、全線開通 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅館川用水改良事業着工(～'80) ・富士緒用水改良事業着工(～'78)
	1968(昭和43年)			<ul style="list-style-type: none"> ・初瀬用水改良事業着工(～'80) ・野津用水改良事業着工(～'80)
	1969(昭和44年)	<ul style="list-style-type: none"> ・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営国東農地開発事業着工(～'76)※ ・日出生ダム完成※ ・大野原用水改良事業着工(～'81) ・佐賀関用水改良事業着工(～'81) ・並石用水改良事業着工(～'81)
	1970(昭和45年)			<ul style="list-style-type: none"> ・石山用水改良事業着工(～'80) ・広域農道国東地区着工(県下第1号、～'81)
	1971(昭和46年)	<ul style="list-style-type: none"> ・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足 		<ul style="list-style-type: none"> ・臼杵用水改良事業着工(～'81) ・野津畑地帯総合土地改良事業着工(～'81) ・大野原畑地帯総合土地改良事業着工(～'83) ・臼杵防災ダム事業着工
	1972(昭和47年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設 		<ul style="list-style-type: none"> ・宇佐用水改良事業着工(～'80)
	1973(昭和48年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次) 		
	1974(昭和49年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足 		<ul style="list-style-type: none"> ・明正用水改良事業着工(～'81)
	1975(昭和50年)		<ul style="list-style-type: none"> ・4.21 県中部で直下型大地震発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・若宮用水改良事業着工(～'82) ・大野川上流畑地帯総合土地改良事業着工(～'81)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		
	1977(昭和52年)			・城原用水改良事業着工(～'82) ・竹田畑地帯総合土地改良事業着工(～'82)
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		・国営大野川上流農業水利事業着工※ ・萩畑地帯総合土地改良事業着工(～'84)
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設	・「一村一品運動」をはじめて提起	・日指ダム完成※ ・萩柏原用水改良事業着工(～'84)
	1980(昭和55年)			
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		
	1982(昭和57年)			
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震		
	1984(昭和59年)	・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定		
	1985(昭和60年)			
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向		
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通		
	1989(平成元年)			
	1990(平成2年)			
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる	・台風19号襲来、山林被害248億6000万円に達す	
	1992(平成4年)			
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入		
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	大分県の歴史	大分県の水土整備の歴史
平成時代	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		・緑資源機構 直入庄内農用地等整備事業着工(～'05)
	1996(平成8年)		・大分自動車道、ほぼ全線開通	
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布		
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		
	2001(平成13年)			
	2002(平成14年)			
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震		
	2005(平成17年)			
		・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田42,200ha、畑18,200ha、計60,400ha
	2006(平成18年)			
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
2009(平成21年)				
2010(平成22年)				
2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))			
2012(平成24年)				
2013(平成25年)				

<参考文献>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
- *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
- *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
- *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
- *5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)
- ※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

時代

西暦(和暦)

全国の歴史

大分県の歴史

大分県の水土整備の歴史

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「大分県土地改良史」(1979年)より抜粋

また、大分県の歴史は「大分県の歴史」(1997年)(山川出版社)より抜粋